

令和6年10月10日

3歳児保護者様

兵庫教育大学附属幼稚園
3歳児担任

学年だよ！

9月は残暑の厳しい日が続きましたが、心地よい風、ドングリなどの木の実の实り、空や雲の様子など、10月中旬となり、一段と秋の気配をぐっと感じるようになってきました。9月中旬から、うめ組、もも組で遊んできた遊びの過程を運動会で見ていただきたいと思います。子供たちの様子や運動会の見所などを紹介します。

運動会までの過程の中で大切にしてきたこと

9月中旬からうめ組、もも組で、おいかけっこ、かけっこ、体操、玉遊び、玉入れ、おっかけ玉入れ、体操、バルーン遊びなど体を動かす遊びだけでなく、一緒に歌を歌ったり、絵本を見たり…学年の先生や友達と一緒に過ごすこと、「楽しい」「面白い」と感じることを大切にしてきました。そして、10月からは「うめ組、もも組で毎日、運動会をすること」「運動会とは、うめ組、もも組で楽しいことをして遊ぶこと」「12日（土）に運動会は、みんなの大好きなお家の人も一緒に遊ぶこと」を伝えてきました。

私たち教師は運動会までの過程を「練習」と捉えてはいません。「運動会」までも、子供たちにとっては、日々の遊びの積み重ねであり、私たち教師は、その「遊びの過程の一つ」を「運動会」として見ていただきたいと考えています。運動会までを「練習」、そして運動会当日を「本番」と捉えてしまうこと…その気持ちはよ〜くわかります。確かに、運動会当日、たくさんの人前で何かをすることによって、自信をもち、その後の育ちにもつながっていくと考えられます。しかし、運動会当日だけでは、そういった力は育ちません。それまでの過程があるからこそ、そういった過程の積み重ねがあるからこそ、運動会当日の育ちもあるのです。だから、幼稚園では、運動会までの過程を大切にしています。その過程の中で、どんな経験をしてきたのか、そして、どんな感情体験をしてきたのか…それが大切なのです！

きょうだい関係の運動会、未就園児の時に経験した運動会、絵本や物語の中での運動会…子供たちなりに「運動会」という言葉は知っていると思いますが、その捉え方は様々です。子供たちにとっては、毎日が「運動会」であり、12日（土）は大好きなお家の方などが見に来てくれて、しかも一緒に遊べるという「運動会」の日なのです。だから、運動会までを「練習」、当日を「本番」ではなく、日々の遊びや生活でいろいろな体験をしながら、運動会当日を迎えることができると考えていました。

また、3歳児では、運動会までの過程の中で、「先生や友達と一緒に思いきり体を動かす楽しさや面白さ、心地よさを感じること」「自分なりに感じたことを思いきり表現すること」「いろいろな人と一緒に触れあいながら遊ぶことを楽しむこと」「そういった中で様々な感情体験をすること」を大切にしていこうと考えていました。「体を動かすと楽しい！」「先生と一緒にすると楽しい！」「友達と一緒にするのも楽しい！」…3歳児にとっては、まだまだ「自分」が中心です。まずは「自分」が楽しいと思えるように、そして、ちょっぴりドキドキしても、「先生と一緒にだから大丈夫！」と思えるように過ごしてきました。教師と一緒に体を動かして遊ぶことを通して、「自分」をありのまま表現していくこと、「自分」をどんな形でもさらけ出していくことが大切だと考え、その姿を私たち教師が受け止めていくように心がけました。

3歳児の子供たちにとって、運動会当日は、たくさんの方がいて、しかも、カメラやビデオを通して自分たちのことを見ていて…いつもとは異なる異質な空間となります。だからこそ、大好きなお家の方と一緒に楽しめる運動会に！！と考えました。保護者の皆様には、3歳児のみで参加するプログラム（「よーいどん」「みんなであそぼう」）には、一緒に参加していただきます。そして、子どもたちが安心して運動会に参加できるように園児席でも一緒に過ごしていただきます。お家の方も子供たちと一緒に運動会を楽しんでください！！そして、ご協力、よろしくお願いします。

しかし！！ひよっとすると、運動会当日、「嫌だ！やりたくない」「お母さん、お父さんと離れたくない」

「疲れた…もう嫌だ…」 「… (緊張でフリーズ状態)」 「参加するプログラムなのに座ったまま見ている、砂遊びをしている (あれ？うちの子、何しているの?)」 など…いろいろな姿が予想されます。保護者の方からすれば、「どうして…」 「みんなと一緒にどうしてしないの？」 「頑張りなさい！」 など…様々な思いがありますよね。(この気持ちもよ～くわかります。保護者のみなさんの気持ちとしては当然のことで、当たり前なことだと思います。しかし、聞いてくださいね…) 子供たちは、これまでの過程の中でも同様の体験を繰り返しながら、様々な感情体験をしてきました。子供たちは、「立ち止まる」ことなく、そういった経験を「積み重ねている」のです。この経験の積み重ねが、今後、4歳児、5歳児へ向かう姿につながっていくのです。だからこそ、そういった姿を運動会で見た場合も、「いつもとは違う状況で必死に頑張ろうとしているんだ」「自分の思いをさらけ出そうとしているんだ」「いろいろなことを感じながら経験を積み重ねているんだ」など…とありのままの姿を温かく受け入れていただきたいのです。

また、「みんなと一緒にどうしてしないの？」というの、大人ならではの考えだと思います。「みんなと一緒に」というのは、3歳児の子供たちにとっては異次元の世界なのです。先ほども述べたように、まだまだ「自分」が中心だからです。3歳児の今、「自分」をどれだけ、「周りの世界」にさらけ出すかによって、今後、経験する「周りの世界 (人、物など)」との関わりに大きな影響があります。「自分」をさらけ出すことは大切なことなのです。子供たちは、「自分」をさらけ出しながら、様々な感情体験を繰り返し、「周りの世界」と関わるきっかけとなる経験をしているのだと思います。

いろいろなことを感じるからこそ、参加の仕方も様々です。実際に「自分でする」という参加、「見る」という参加、「したくない」という意思表示の参加、「お家の人と一緒にならする」という参加、「その場について雰囲気を感じる」という参加などなど…3歳児の子供たちにとって、運動会の参加の仕方は様々です！見える形の「参加」だけでなく、心に秘めている、そして、心の中で感じている「参加」にも目を向けてください。お子さん、それぞれの参加の仕方を保護者のみなさんも受け止め、支えていただきたいです。

(はじめのあつまり)

さあ！いよいよ運動会の始まりです！初めての運動会！子供たちは、どんな表情で迎えるのでしょうか？そして、どんな気持ちなのでしょう？ご注目ください！！(お家の方もどんな気持ちでむかえるのでしょうか？ドキドキ？ワクワク？とにかく、笑顔で楽しみましょう！！)

(プログラム1. わんぱくたいそう)

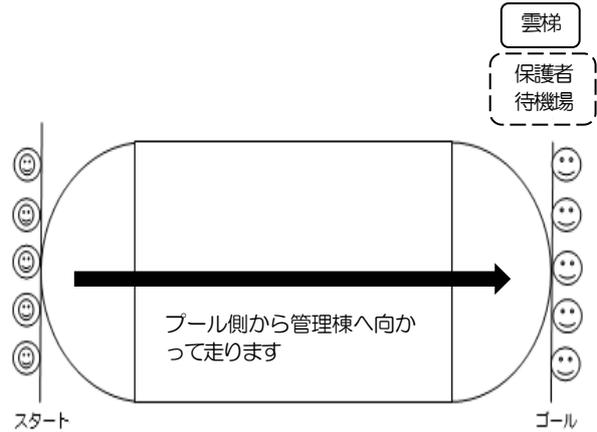
テンポが速く、様々な動きを取り入れた元気いっぱいの体操です。冒頭に「はじまるよー！」の掛け声があったり、サビの前には腕を交互に上げながら「イエイ！イエイ！イエイ！イエイ！」と盛り上がったリ… かけっこ前に心も体も準備 OK！9月から毎日のように楽しんできた体操、保護者の皆様も一緒に楽しんでください。



すみれ組、わかば組のお兄さん、お姉さんが、体操を教えてくださいましたよ！

(プログラム4. よーい どん！)

これまで南園庭や運動場、テラスやお遊戯室で友達や先生と一緒に走ることを楽しんできた子供たち、この日はもも組、うめ組の順に4～5人ずつ走ります。スタート位置にある輪の中に自分のお子さんが入ったら、お子さんの正面になるようにゴール付近に並んでください。子供たちは、名前を呼ばれた後、「よーいどん！」の合図で好きなお家の方の所まで元気いっぱい走ります。お子さんがゴールできたらギュッと抱きしめてあげてくださいね。当日は緊張してスタートできなかったり、泣いてしまうかもしれませんが、そんな時はお家の方と一緒に走ったり、歩いたりしても構いません。



走り終わったら、お子さんと一緒に園児席に戻り、水分補給等をして一息ついたら、その後に走るもも組・うめ組の子供たちへ、お子さんと一緒に声援や拍手をしてあげてくださいね。

***プログラム3. 「山どん 山どん 山ドンドン」がおわりましたら、参加される保護者の方（1名）は雲梯前に集まってください。**



テラスでかけっこをしよう！



先生のところまで！
よーい どん！！



みんなすごいね！
頑張れ～！！

(プログラム8. みんなで あそぼう！)

うめ組、もも組の子供チーム対先生チームで、おいかけっこ、玉入れ、おっかけ玉入れなどをして遊んできました。おいかけっこでは、みんな、逃げるのがとても速いです！！なかなか捕まえることができません…玉入れやおっかけ玉入れでも、みんなでたくさんの玉を集めて、かごに入れてあります。いつも、先生チームは負けていました…でも！！12日の運動会の日には負けません！！子供チームには、お家の人も入ってもらいますが、先生チームも頑張りたいと思います！

バルーン遊びは、バルーンをいろいろなものに見立てながら遊んでいました。海の世界や空の世界に行き、ふわふわのバルーンをつかむ、振る、潜る、入る、おいかけるなど…いろいろなことをして遊んできました。12日の運動会では、うめ組、もも組に分かれて、2つのバルーンを使って遊びます！当日は職員がバルーン遊びの仕方を説明しながら、保護者の皆さんにもお子さんと一緒に遊んでもらいます。「どうしたらいいの？」と不安にならなくても大丈夫です！お子さんと一緒に、バルーン遊びをしながら、海の世界や空の世界を楽しんでください！

実は、この「みんなであそぼう」。おいかけっこ、玉入れ遊び、バルーン遊びをしていますが、毎日の運動会の中で、いつも異なることをしてきました。決まったことを毎日するのではなく、毎日の運動会の中で、その日ならではの遊びをしてきました！だから、12日の運動会もどんなことをするのか…楽しみに！！

参加される保護者の方は1名となります。動きやすい、服装、靴で参加してください。ご協力、よろしくをお願いします。



玉を投げたり、集めたりして遊んだよ



玉入れにチャレンジ！！



バルーンの中に玉を入れたよ！



南園庭でおいっこをしたよ！

先生が来たよ！！
逃げろ～



ふわふわしてるね～



バルーンの海に入ってみよう！



あれ？みんなどこに行ったの？

(おわりのあつまり)

初めての運動会もそろそろ終わりです。最後は、園長先生の話をお願いします。そして、もしかしたら、ごほうびがもらえるかもしれません？お家の方や先生、友達と一緒に過ごした運動会、5歳児のお兄さん・お姉さんの姿を感じたりそのやさしさに触れたりした運動会、ちよっぴり疲れた運動会、たくさんの人に囲まれてドキドキした運動会、なんだか楽しかった運動会…子供たちはそれぞれいろいろな気持ちを感じていることと思います。疲れやお家の人と一緒に過ごしたい思いから、「もう嫌だ！！」なんてこともあるかもしれません。しかし、最後まで過ごせたことは本当にすごいことです！一人一人が感じている思いをありのまま受け止めながら、運動会を終えることができればと思います！

万国旗を作りました

運動場には子供たち一人一人が描いた絵＝万国旗が飾られています。好きな動物や乗り物を描いた子、学級や学年で楽しんだかけっこやバルーン、玉で遊んでいる様子を描いた子、仲よしの友達を描いた子…それぞれが様々な色のペンやクレパスを使って描きました。パッと見ただけでは分からないかもしれませんが、描いている最中や描き終わった後には多くの子供たちが担任に、何を描いたか楽しそうに一つ一つ話してくれました。2学期になって少しずつ自分の思いや、経験したこと、描きたいと思ったことを様々な線や形、色で表現できるようになってきました。是非お子さんの描いた万国旗を見つけて、どんな気持ちで描いたか聞いて、そこから広がっていく会話を楽しんでくださいね。これからも絵で自分の思いを表現することが楽しい！と感じられる気持ちを一緒に育てていただけたら嬉しいです。